

医療・救急

子育てをしていると、「こどもの熱が急に高くなった!どうしよう」、「こどもがやけどをした!」など、突然の病気や事故が起る事もあります。
「もしも…」のときに慌てることがないように、日頃から確認をしておきましょう。

1 かかりつけ医・歯科医・薬剤師を持ちましょう!

お問い合わせ 0568-85-6167 〈健康増進課〉

皆さんは、病気の治療などで行く診療所を決めていますか。今は健康で病気とは縁がない人でも、普段から決めている診療所があれば、突然病気にかかった時など、いざという時に安心です。また、小さな体調の変化や健康状態の不安など、気軽になんでも相談できるかかりつけ医などがいれば、適切なアドバイスが受けられますので、日頃から皆さんの健康状態を把握してくれる、身近で頼りになる「かかりつけ医・歯科医・薬剤師」を持ちましょう。

◆子どもの救急ハンドブック お問い合わせ 0568-85-6343 〈消防救急課〉

あなたのお子さんが、夜間や病院が休みの時に、病気やケガをしたらどうしますか?
「病院は?」「救急車を呼ぶべき?」「どうしよう?」「大丈夫かな?」などの経験は誰にでもあるはずです。
このハンドブックはそんな不安に対して、少しでもお役に立てるような内容が掲載されています。いざという時に、素早く対応できるように日頃から目を通しておきましょう!!

2 休日や平日夜間に急病になったときは…

- かかりつけ医にお問い合わせください。
かかりつけ医であれば、普段の診察や情報などから総合的に判断し、適切な治療が受けられます。
- かかりつけ医が不在のときには、休日・平日夜間急病診療所で診療が受けられます。
診療時間などを確認し、事前に連絡してから受診してください。

春日井市休日・平日夜間急病診療所(総合保健医療センター) 0568-84-3060

診療科目	診療日	診療時間	診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	平日夜間 ※祝休日及び年末年始は除く	21:00～23:30	外科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	9:00～12:00 13:00～17:00
	土曜日 ※祝休日及び年末年始は除く	18:00～21:00	歯科	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	9:00～12:00
	日曜日・祝休日 年末年始 (12/30～1/3)	9:00～12:00 13:00～17:00 18:00～21:00			

※受付は診療開始時間の30分前から診療終了時間の30分前までです。
※この急病診療所は、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力で実施しています。

あいち救急医療ガイド(愛知県救急医療情報システム)

ホームページアドレス <https://www.qq.pref.aichi.jp/>

※インターネットで、その時に受診可能な医療機関を検索することができます。なお、受診する前に、必ず直接医療機関にお問い合わせください。



安全安心情報ネットワーク

登録をされた皆さんに、気象等情報(気象・地震・熱中症など)や安全安心情報(犯罪・不審者など)、消防情報(火災など)を携帯電話やパソコンなどにお知らせします。

右のQRコードを読み取り、市のホームページから登録サイトへアクセスしてください。



3 こんなときどうする?

こどもの急な病気や、赤ちゃんの事故など、子育てをしていて「どうしたらいいのだろう?」と迷ったときの、受診の目安をまとめました。

◆発熱 発熱したときの受診の目安

生後3か月未満
①38.0℃以上の発熱。
②38.0℃未満でも、少し様子を見て体温が上がってきた。

医療機関で受診してください。

生後3か月～6歳
①元気がなく、ぐったりしている。
②おしっこが出ない。
③活気がない。
④よく眠れずに、うとうとしている。
⑤水分をとるのを嫌がる。
⑥呼吸がおかしい。

1つでも当てはまれば医療機関で受診。
1つも当てはまらない時は、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。
ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆おう吐 おう吐したときの受診の目安

生後3か月未満
いつもと違って、母乳、ミルクを飲むたびに勢いよくおう吐を繰り返す。

医療機関で受診してください。

その他…
①おなかが張っていて、ぐったりしている。
②我慢できないほどの、激しい腹痛を訴える。
③血液や胆汁(緑色の液体)を吐く。
④活気がなく、無気力。
⑤いつもと違う様子である。
⑥げりが12時間以上続いて、ぐったりしている。
⑦おしっこが出ない。
⑧くちびるが乾いて、ぐったりしている。
⑨頭痛を訴えており、うとうとしたり、ちょっとした刺激に過敏に反応したりする。
⑩血便がでる。

1つでも当てはまれば医療機関で受診。
1つも当てはまらない時は、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。
ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆誤飲 誤飲したときの受診の目安

①意識がない。
②けいれんを起こす。

すぐに救急車を呼びましょう!

①何を飲んだか分からない。
②ボタン電池・硬貨・灯油・ベンジン・マニキュア・除光液・排管洗浄剤・酸・しょうのうなどを飲んだ。

吐かせないで医療機関で受診。

たばこ・ホウ酸団子・ナフタリン・パラジクロルベンゼン・大量の医薬品・化粧品などのエタノールを含むものを飲んだ。

無理に吐かせないで医療機関で受診。

化粧品・シャンプー・芳香剤・石けん・マッチ・クレヨン・シリカゲル・粘土・保冷剤・体温計の水銀・植物活力剤などを飲んだ。

口の中のものは取り除き、しばらく様子を見て、翌朝など、かかりつけ医に診てもらってください。ただし、時間とともに具合が悪くなったら医療機関で受診してください。

◆急性中毒になったとき

(財)日本中毒情報センターでは、365日中毒110番として化学物質、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し情報提供しています。

大阪 072-727-2499【24時間対応】
つくば 029-852-9999【24時間対応】
たばこ誤飲事故専用電話 072-726-9922【24時間対応】